

2023年5月31日

キヤノン株式会社

「キヤノンサステナビリティレポート 2023」記載内容の一部訂正および更新のお知らせ

2023年5月10日に発行しました「キヤノンサステナビリティレポート 2023」の記載内容の一部を訂正いたします。お詫び申し上げますとともに、今後は再発防止に努めて参ります。詳細は以下をご参照ください。

掲載ページ	該当箇所	修正前	修正後
P86	米国 Dodd-Frank 法および EU 紛争鉱物規則への対応（紛争鉱物問題） （本文）	キヤノンは米国の上場企業であることから、毎年 5 月末日までに米国証券取引委員会（SEC）にグループの紛争鉱物問題への取り組み状況をまとめた「紛争鉱物報告書」を提出しています。	キヤノンは、毎年 5 月末日までに米国証券取引委員会（SEC）にグループの紛争鉱物問題への取り組み状況をまとめた「紛争鉱物報告書」を提出しています。

このほか、記載内容の一部を更新いたします。詳細は以下をご参照ください。

掲載ページ	該当箇所	修正前	修正後
P12	2050 年にめざす姿 （本文）	製品ライフサイクル※を通じた CO ₂ 排出量を 2050 年にネットゼロとすることをめざします。	製品ライフサイクル※ ¹ を通じた CO ₂ 排出量を 2050 年にネットゼロとすることをめざします。
	2030 年にめざす姿 （本文）	スコープ 1、2 のみならずスコープ 3 を含んだ「ライフサイクル CO ₂ 製品 1 台当たりの改善指数 年平均 3%改善」の目標を継続的に達成し、2030 年には 2008 年比で 50%改善をめざします。また、事業活動を通じて排出する CO ₂ 排出量については科学的根拠にもとづく目標認定機関である SBTi の基準に即した 2030 年までの削減目標（SBT）を申請、着実に削減を進めていきます。	2008 年に設定した環境目標「ライフサイクル CO₂ 製品 1 台当たりの改善指数 年平均 3%改善」を継続的に達成し、累計で 50%改善とすることをめざしています。また、SBTi※² の基準に即し、スコープ 1、2 排出量を 2022 年比で 42%削減、スコープ 3（カテゴリ 1、11）排出量を 2022 年比で 25%削減することをめざします。（SBTi 認定を申請中）
	2050 年にめざす姿／ 2030 年にめざす姿 （注釈）	※ スコープ 1：直接排出（都市ガス、LPG、軽油、灯油、非エネルギー系温室効果ガスなど）、スコープ 2：間接排出（電気、蒸気など）、スコープ 3：サプライチェーン	※ ¹ スコープ 1：直接排出（都市ガス、LPG、軽油、灯油、非エネルギー系温室効果ガスなど）、スコープ 2：間接排出（電気、蒸気など）、スコープ 3：サプライチェーン

		ンでの排出（購入した物品・サービス、輸送・流通、販売した製品の使用）	ンでの排出（購入した物品・サービス、輸送・流通、販売した製品の使用） ※2 SBTi (Science Based Targets initiative) : 科学的根拠に基づいた GHG 排出削減目標の設定を推奨する国際イニシアティブ
P13	TCFD 提言に即した開示（表） 指標と目標	当社は、社会と連携しながら、製品ライフサイクル全体での取り組みを通じて、2050年に CO ₂ 排出量をネットゼロとすることをめざしています。	加えて、当社は SBTi の基準に即し、2030年にスコップ 1、2 排出量を 2022年比で 42%削減、スコップ 3（カテゴリ 1、11）排出量を 2022年比で 25%削減することをめざします。（SBTi 認定を申請中） さらに、社会と連携しながら、製品ライフサイクル全体での取り組みを通じて、2050年に CO₂ 排出量をネットゼロとすることをめざしています。
P51	キヤノングループ労働安全衛生マネジメントシステムの効果的な運用の推進（注釈）	また、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格である OHSAS18001 から、新たな国際規格である ISO45001 への移行を進め、2022 年末時点ではキヤノン（株）および国内外グループ製造会社のうち、約 17%が ISO45001 認証を取得しています。	また、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格である OHSAS18001 から、新たな国際規格である ISO45001 への移行を進め、2022 年末時点ではキヤノン（株）および国内外グループ製造会社のうち、約 17%が ISO45001 認証を取得しています。 参考 : ISO45001 認証取得状況 https://global.canon/ja/sustainability/society/pdf/iso45001-j.pdf

以上